

6 項目の政策アンケート

1. 南海トラフ大地震と「夢洲」での「万博」・「IR・カジノ」の安全性について

そもそも夢洲は廃棄物最終処分場として計画され、造成が進められてきました。そのため、人が住む又は常時活動しているという観点はなかったと思われます。また、南海トラフ大地震の影響については、津波だけで判定するわけには行きません。かさ上げしているから大丈夫というのは根拠が薄弱というしかありません。津波の高さも研究者により幅があることから、標高7mに満たないところでは安全が確保されているものではありません。

次に、埋立地で橋と地下鉄でしか往来できない孤立地の評価が必要です。また、その周辺も災害に安全な地域とはいえず、水害にあった歴史がある地域も多く、一度に救助すべき所が発生した場合も想定して、災害対策が必要です。減らすべきにもかかわらず増やせば、救助が一掃困難になります。

2. 大阪スマートシティ計画について

大阪府・市が「大阪スマートシティ戦略」を打ち出し、戦略会議を開催して、政府方針に沿った事業を展開しようとしている。2019年に戦略会議を発足させ、戦略をVer.2.0と改定したもの、見るべき成果を上げていないのが現状です。スマートヘルスシティ計画やスマートモビリティの推進を打ち出しているが、具体的にイメージが難しいままとなっている。実際には、行政に係る手続きのオンライン処理が具体的に進んできています。市町村のデジタル格差が大きいことや大阪府庁のデジタル化が全国的に遅れているなどの指摘があり、慎重に進めるべき課題と考えます。

3. 大阪・関西万博について

大阪・関西万博について、万博の開催そのものと会場選択の問題があると思われます。万